

【九州・沖縄ブロック】

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
①団体名	南島原市
②事業名	堂崎港埋立地の利活用
③本事業の現在の検討ステージ	1.事業発案
④サウンディングの目的	<p>市内において県営事業による埋立工事が進められており、市は新たに発生する土地について、「生産・流通団地」を中心とした活用を考えている。</p> <p>土地の有効利用と地域の発展・振興を図っていくためには、民間事業者の活力や資金、アイデア等の導入が必要不可欠であるため、周知を図るとともに土地利用の可能性を広く探りたい。</p>
⑤民間事業者に対する質問事項	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容（事業概要、施設整備、資金計画、運営形態、雇用見込） ・土地利用の希望（用途、面積、位置、時期、土地価格又は賃料） ・地域貢献（地元雇用、景観・環境への配慮） ・公募条件の希望（条件設定） ・環境整備の希望（道路、上下水道、その他インフラ等） ・その他（市に期待する支援や配慮、想定される課題や問題等）
④対話を希望する業種 ※該当する番号に○（複数可） 注）希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません	1.設計 2.建設 ③.不動産 ④.金融機関 5.維持管理 ⑥.コンサル 7.運営（ ） ⑧.その他（利活用事業の主体となる事業者であれば業種は指定しない）
2. 事業概要 （1）基本情報	
①事業の種類 ※該当する番号に○（複数可）	1.新設 2.建替え 3.改修 4.管理運営のみ ⑤.公有地活用 6.包括委託 7.その他（ ）
②事業内容 ※事業の内容を簡潔にご記入下さい	・堂崎港埋立地は、雲仙普賢岳の噴火・土石流災害に伴って発生した土砂等の処分場として、長崎県の事業により埋立工事が進められている。

	<ul style="list-style-type: none"> 埋立工事は令和5年度に竣工予定となっているが、一部を部分竣工として前倒しで利用することも可能である。 埋立地（土地）について、民間事業者への売却及び賃貸等を基本として利活用を検討していく。
③現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 道路や上下水道等のインフラが未整備。（埋立工事竣工後の整備が必要） 土地は市が長崎県から購入する必要がある。 インフラ整備や土地購入で多額の費用負担が発生する。 基幹道路として隣接する国道の幅員が狭い。
④前提条件	なし
⑤事業スケジュール(予定)	令和5年度 埋立工事の竣工（全体） 令和6～7年度 土地登記手続、県から市へ土地売却 ※以後、必要に応じ国道路面高まで埋上及びインフラ整備を実施
(2) 対象地	
①所在地（交通情報含む）	長崎県南島原市有家町大苑
②敷地面積	約 221,000 m ²
③土地利用上の制約	なし
④所有者	南島原市（現在は長崎県）
⑤周辺施設等	高速道路（諫早IC）：56km フェリー（島原港）：13km フェリー（多比良港）：28km フェリー（口ノ津港）：19km 中心市街地（イオン有家店ほか）：3km 周辺の公共施設等：添付資料①
⑥対象地周辺の一般的なイメージ	海岸線に沿うように国道がのび、国道沿線を中心に住宅地が広がる農漁村地域。 雲仙山系の南側裾野に田畑が広がっているため、肥沃な土壌、豊富な地下水、長い日照時間など農業に好条件となる要素が揃っている。
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	周辺人口（平成31年3月末） 南島原市：45,605人 うち堂崎港埋立地周辺（有家町、布津町）：11,701人 島原半島3市：134,121人 （島原市 44,907人、雲仙市：43,609人）

■ 添付資料

- 位置図、平面図、現況の写真
- 南島原市産業、産業特性（製造業、農業、水産業）